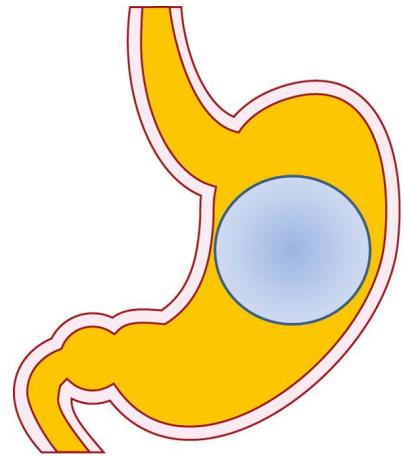


## 肥満者を対象とした『胃内バルーン減量術』

- 食生活の欧米化と慢性的な運動不足により日本人の肥満人口は過去 40 年間で約 3 倍に増加しました。肥満症は高血圧や糖尿病だけでなく、心筋梗塞や脳梗塞、さらに一部の癌の危険因子でもあります。肥満症の治療には食事療法や運動療法、薬物療法がおこなわれますが、十分な効果が得られないのが現状です。

肥満先進国の欧米で近年、胃内バルーン療法という画期的な方法が開発されました。この方法は内視鏡（胃カメラ）で胃の中に風船（バルーン）を入れることで、胃の容積を少なくして食事量を減らすというものです。バルーンは半年後に内視鏡で胃から取り出しますが、約 10 kg の体重減少と肥満に伴う健康障害（糖尿病、高血圧、高脂血症、脂肪肝など）の改善が確認されています。胃を一部切除する方法に比べて体への侵襲が少ないことも特徴の一つです。

当クリニックでは、食事や運動療法など従来の方法でも肥満が改善しない BMI 27 以上の肥満症の方を対象に「胃内バルーン減量療法」を行っています。胃内バルーン減量術を希望される方は電話で当院の専門外来を予約してもらい、医師による診察の後に治療の概略を説明します（遠方の方で受診が困難な場合はまずは電話での問診と説明を行います）。その後、減量術が受けられるかを決めますが、半年以内に検診



などで内視鏡検査や採血を受けておられる方は結果を示していただけると一部検査を省略することもできます。胃内バルーン減量術は日本肥満学会でも肥満治療としてコンセンサスが得られています全額自費治療となります。また、胃内バルーン留置は外来でも可能ですが、術後 2-3 日は“吐き気”が強いため数日の入院を勧めます。費用の目安は個々のケースで異なりますが当院の当院の処置が 39 万円（バルーン抜去時の費用含む）、入院される場合は別途費用が必要です（2 泊入院で 5-6 万円程度）。今までの私が行ってきた胃内バルーン治療成績は平均超過体重減少率が  $37.6 \pm 25.9\%$  と全国平均（ $25 \pm 19\%$ ）よりすぐれていました（詳細は胃内バルーン治療結果をご参照ください）。

### 【治療の適応の条件】

- ✓ 年齢 20 歳以上 65 歳未満
- ✓ 胃の手術歴がない方
- ✓ **重篤な心疾患・腎疾患・肝疾患のない方**
- ✓ **BMI = 体重(Kg) ÷ 身長<sup>2</sup>(m) が 27 以上 (例: 172cm・80kg の場合・BMI ⇒  $80 \div 1.72^2 = 27.04$ )**